中 自 協 通 信

第10号　発行日：令和2年10月20日　発行者：中部地区自治協議会

◎　中部地区のまちづくりの新たな動きについてお知らせします。

1　名切地区再整備

　中央公園から旧花園中学校に至る一帯に連続する公共施設は、全体として老朽化が進み、また、旧ふれあいセンターなど既に利用していない施設も複数ある中で、中心市街地に位置するこのエリアは、市民の憩いや交流の場として、またこれからの佐世保市の教育・文化・スポーツなどを振興する場としての役割が期待されるエリアであり、次のような整備や計画が行われています。

　平成 29 年 1 月に策定した「**名切地区まちづくり構想**」に基づき佐世保市は、

① 旧花園中学校跡地について、名切地区及び周辺地域の活性化並びに佐世保市の地方創生の実現に寄与することを期待して民間事業者からの事業提案（プロポーザル）の公募を実施しました。審査の結果、学校法人九州文化学園を最優秀提案者（優先交渉権者）として選定し、平成 30 年 3 月定例市議会における財産処分に係る議決をもって契約を締結し、その後、九州文化学園小学校・中学校が平成 31 年 4 月に開校しました。

② 中央公園については、全国的に民間のノウハウを導入した運用によって利用者のニーズに沿った公園施設の設置や再整備が行われる事例が増えており、また、平成 29 年の都市公園法改正によって Park-PFI 制度が創設されたことでその流れはますます加速するものと考えられています。これらのことを背景に、中央公園エリアは民間事業者が公募対象公園施設を設置し、当該施設から生じる収益を活用してその周辺の特定公園施設の整備等を一体的に行う「公募設置管理制度（Park-PFI）」を導入するとともに、民間資金や民間事業者のノウハウを活用する PFI（BTO（Build, Transfer and Operate）方式）を併用し整備されることになりました。今後、設計等の詳細が詰められていきます。

　なお、佐世保警察署の移転建替えの最優先候補地として旧市民会館の跡地及び旧花園中学校の跡地（一部）を検討している旨、10月14日（水）に中部地区自治協議会に長崎県警から考えが示されたところです。

2　佐世保川洪水ハザードマップ

　洪水ハザードマップとは、河川の破堤、はん濫等の浸水情報及び避難に関する情報を住民に分かりやすく伝えるため、市町村が作成し公表するものです。
　これまで相浦川、早岐川、宮村川、江迎川について作成・公表が済んでおり、この度、佐世保川についてハザードマップを作成することになりました。
　想定しうる最大規模（千年に一度）の洪水に対する避難体制等が求められているため、今後開催される作成協議会において中部地区として作成に関与していくことになります。

◎　令和2年度の自治協議会の事業についてお知らせします。

前号（第9号）でお知らせしていた諸行事のほか、その後、実施・中止の判断をしたものをお知らせします。新型コロナウイルス感染の影響が続く中、3密を防止しながら工夫して実施するものもあります。

　赤ちゃんハイハイ・・・中止、レクリエーション大会・・・中止、文化祭・・・中止、研修旅行・・・中止、ウォーキング大会・・・近々に再検討、青少年健全育成事業（マーチングバンド）・・・11月28日（土）午前に体育文化館大体育室で実施

役員表彰が行われました

中部地区自治協議会慶弔費規程第２条の規定（中自協の役員又は中自協の部会を構成する地域団体代表及び町内代表者として在職１０年に達した者）により、次のお二人が表彰されました。

永年の地域へのご貢献に対して感謝とお労いを申し上げます。

下京町町内会長　松尾　一信　様	高天町自治会長　今道　昭哉　様

防災講習会のお知らせ

9月15日の総務･研修部会で開催日は調整中である旨お伝えしていました「防災講習会」を11月4日(水)13:30～15:00で開催します。

関係各位に別途ご案内を差し上げますので、ぜひともご参加をお願いします。

編集後記

新型コロナウイルス感染防止の意識は着実に市民に根付いていると認識しつつも、時折バスの中や人通りの多い街中でマスクをしていない人を見ると、その認識は、ただ単に自分が安心したいがために「市民の意識は十分」だと思い込んでいるせいなのかもしれないなと考えてしまいます。感染経路不明の感染者の割合が一定の水準で推移していることから、やはり自分の身は自分で守る以外に方法はないと改めて強く思います。それと同時に、このような不安感が充満した社会だからこそ日々の活動にチャレンジしようとする人たちを応援したいし、自分自身も試行錯誤を厭わない気持ちは持ち続けたいと思います。